

六甲山光のアート Lightscape in Rokko 夏バージョン「夏は夜」 7月1日(土) からスタート! ～春バージョン「春はあけぼの」は、5月31日(水)まで～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:秦雅夫)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が六甲山上で運営する「自然体感展望台 六甲枝垂れ」で実施している「六甲山光のアート Lightscape in Rokko」は、4月1日(土)より、ライティングテーマを「枕草子」にリニューアルして、春バージョン「春はあけぼの」を、5月31日(水)まで開催しており、毎夜、多くの観光客にお楽しみいただいています。

「六甲山光のアート Lightscape in Rokko」は、1000万色以上の色彩表現ができる LED 照明を使って、限りなく自然光に近い光で展望台全体を覆うフレームを内側から照らす光の演出です。親近感ある風景の光による描写は、照明デザイナー・伏見雅之氏の演出によるもので、六甲山から望む1000万ドルの夜景とともに、季節の移ろいを感じる幻想的な光景をお楽しみいただけます。

7月1日(土)から始まる夏バージョン「夏は夜」では、夏の夜の月が明るい情景の中で、蛍の飛び交う様子や、雨の日の様子を、約7分間の光の演出で表現します。

◆六甲山光のアート「Lightscape in Rokko ～夏バージョン「夏は夜」～」開催概要

1000万色以上の色彩表現ができる最新の LED 照明器具を使い、限りなく自然光に近い光で、展望台全体を覆うフレームを内側から照らす光のイベントです。約7分間の演出を繰り返していきます。19:00のガイドツアー(無料・別途入場料要)では、六甲山光のアートや阪神間のパノラマ夜景、六甲枝垂れの設計に関してスタッフが解説します。

夏バージョン「夏は夜」

夏の夜の、月が明るい情景。闇夜に蛍が多く、またはほんの数匹が飛び交ってぼんやりと光って飛んでいく姿や、雨の日の様子。

【開催日時】 7月1日(土)～9月8日(金)
19:00～21:00(20:30受付終了)
※天候により変更の場合があります。

【入場料金】 大人(中学生以上)300円、小人(4歳～小学生)200円

演出作家: 伏見雅之氏プロフィール

主な受賞歴は、「1991年卒業制作東京芸術大学買い上げ」「2001年あかりフェスタ2001審査員特別賞」「2006年ジャパングルフフェア PRGR ブース空間デザイン(東京ビックサイト) JGGA 賞第一位」など。光を通して日常空間や都市空間を彩り、生活を豊かにする表現のツールとして活動しています。2010年、2011年六甲ミーツ・アート 芸術散歩招待アーティストです。



Lightscape in Rokko 夏バージョン「夏は夜」イメージ

「自然体感展望台 六甲枝垂れ」営業概要

【営業時間】10:00～21:00(最終受付20:30)

※天候等により変更の場合あり。

【定休日】無休 【入場料金】大人(中学生以上)300円、小人(4歳～小学生)200円

【所在地】〒657-0101 神戸市灘区六甲山町五介山1877-9

【お問い合わせ先】六甲ガーデンテラス TEL:078-894-2281